

技術・家庭科 家庭分野 教科の目標
衣食住などに関する実践的・体験的な学習活動を通して、生活の自立に必要な基礎的・基本的な知識及び技術を習得するとともに、家庭の機能について理解を深め、これからの生活を展望して、課題をもって生活をよりよくしようとする能力と態度を育てる。

家庭分野 第1学年の目標
(1) 学習内容と自分の生活を関連させ、自身の課題を気づき、3年間の学習の見通しをもつ。
(2) 住生活・食生活に関心を持ち、課題をもって住生活・食生活について工夫し、計画を立てて実践できる。

※【知】は知識・技能

【思】は「思考・判断・表現」

【態】は「主体的に学習に取り組む態度」

| 月 | 単元名 | 学習内容 | 評価規準 | 評価資料 | |
|--------------|--|--|------|--|------------------------------|
| 4 ～ 10 | ガイダンス C住まいのはたらき C健康で安全な住まいで安心な暮らし。 | ガイダンス ・住居の基本的な機能を知る。 ・住空間と生活行為の関わりを知る。 ・自分の家族の安全を考えた室内環境の整え方を工夫する。 ・安全で快適な住まい方を理解する。 ・住まいにかかわる作品作り。 | 【知】 | ・住居の基本的なはたらきと住まいに必要な空間について理解している。 ・家族の生活行為と住まいの空間のかかわりがわかる。 ・安全な住まい方の工夫、災害対策が理解できる。 | ノート・ワーク・プリント 定期考査 |
| | | | 【思】 | ・家族の安全を考えた住まい方を工夫できる。 ・快適な室内環境にするために行動し、住まいの課題解決にむけ、工夫で きる。 ・安全で効率よく作品の製作をすることができる。 ・目的に応じた縫い方ができる。 | ノート・ワーク・プリント 作品・作業観察 |
| | | | 【態】 | ・これから学ぶ家庭分野の内容について見通しをもとうとしている。 ・自分や家族の生活行為と住まいの役割を理解し、関心をもって学習活動 に取り組もうとしている。 ・安全な住まい方の工夫をしようとしている。 ・安全で効率よく作品の製作をしようとしている。 ・目的に応じた縫い方をしようとしている。 | 作品・授業観察 ノート・ワーク・プリント提出物 |
| 10 ～ 3 | 食事の役割と食習慣 さまざまな食品と食文化 日常食の調理 | ・食習慣と健康について考える。 ・自分の食生活を振り返り、課題を見付ける。 ・和食について、配膳・箸の使い方・マナーなどを知る。 ・5つの栄養素、水の働きを知る。 ・様々な食品を栄養的特徴により6つの食品群に分類する。 ・中学生に必要な栄養素を知る。 ・食品群別摂取量を知り、中学生の栄養の特徴に気付く。 ・食品群別摂取量を元に、献立を考えることができる。 ・献立作成の条件と手順を確認する。 ・生鮮食品の意味を知り、旬があることを知る。 ・生鮮食品の特徴を考える。 ・加工食品の種類と特徴を知る。 ・加工食品の表示の見方を知る。 ・表示を生かした食品の選び方を知る。 ・生鮮食品、加工食品を用いて日常食を作る。 | 【知】 | ・食品の特性を理解する。 ・食事の役割や栄養素の種類と働きを理解している。 ・中学生に必要な栄養の特徴を理解している。 ・食品群別摂取量の目安を理解し、中学生に必要な栄養量を満たす一日分の献立の立て方についてわかる。 ・食生活に関心を持ち健康に良い食習慣を知る。 | ノート・ワーク・プリント 定期考査 |
| | | | 【思】 | ・食品の特性を知り食事作りに生かすことができる。 ・食生活について問題を見いだして課題を設定している。 | 授業観察 定期考査 ノート・ワーク・プリント |
| | | | 【態】 | ・和食について、配膳・箸の使い方・マナーなど適切に使おうとしている。 ・食品群別摂取量の目安を理解し、中学生に必要な栄養量を満たす一日分の献立を立てようとしている。 | ノート・ワーク・プリント |